

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(8)	なじみの関係の継続として、身内の方や知人の面会はある。しかし、利用者様からの情報発信はできていない。	利用者様の身内もしくは知人にお手紙を出す支援をする。	利用者様になじみの関係の方へのお手紙を出すことを提案し、どなたに出したいか、どのような要件を伝えたいかなどをお話することで回想療法となじみの関係の深化を図る	3ヶ月
2	(10)	ケアプランの内容ができることの支援をしていくという点で不明確な点があり、また、できないことの原因が認知症によるものかそうでないかの分類ができていない。	認知症でできること・できなくなっていること及び身体レベルの低下でできなくなっていることの分析を行っていく。	①認知症でできなくなっていること、身体レベルの低下でできなくなっていることを各担当に分析してもらう。 ②上記分析をもとに適切な支援の認識を共通化していく。	6ヶ月
3	(11)				
4	(6)				
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。